



医療法人 信誠会 荻部医院 健康診断コース・項目・一覧表

一般健康診断		法律で実施が義務付けられている健康診断です。 (労働安全衛生規則第43・44・45条)	
健診コース	料金 (税込)	検査項目	備考
定期A	8,910円	身長、体重、BMI、腹囲測定、視力検査、血圧測定、聴力検査、胸部X線、心電図検査、尿検査 (糖・蛋白)、貧血検査 (R・Hb)、AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、HDLコレステロール、中性脂肪、LDLコレステロール、血糖、HbA1c、診察	糖尿病の早期発見に有効なHbA1cを追加しています。
定期B	8,360円	定期AからHbA1cを除いた内容	法令で求められている最低限の健診です。 (雇用時等)
特定業務従事者健診	7,040円	定期AよりHbA1cと胸部X線を除いた内容	深夜業等の特定業務の労働者対象です。
簡易健診	4,200円	身長、体重、視力検査、聴力検査、血圧測定、尿検査 (糖・蛋白)	簡易的な最低限の健診です。

生活習慣病健診		がん検診や限定検査等を加えた 充実した内容の健康診断です。	
健診コース	料金 (税込)	検査項目	備考
人間ドック	21,890円	身長、体重、BMI、腹囲測定、視力検査、血圧測定、聴力検査、胸部X線、胃部X線、心電図検査、尿検査 (糖・蛋白・潜血)、便潜血反応検査 (2日法)、貧血検査 (R・Hb・Ht・W)、血小板数、AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、ALP、乳酸脱水素酵素(LDH)、コリンエステラーゼ、総ビリルビン、総蛋白、A/G、HDLコレステロール、中性脂肪、LDLコレステロール、アルブミン、血糖、HbA1c、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、アミラーゼ、診察	※便潜血反応検査は提出日当日、前日、前々日の3日間のうち2回採取して25℃以下で保管してください。生理中は避けてください。

オプション検査					
検査項目	料金 (税込)	備考	検査項目	料金 (税込)	備考
Viewアレルギー39	13,200円	39項目	NT-proBNP	2,200円	心臓への負担を評価
CEA、AFP、CA125、CA19-9	5,500円	女性セット	頸動脈超音波検査 心臓超音波検査	4,730円 17,050円	月・水・木・金 火曜日のみ
SCC抗原	2,200円	子宮頸がん	HbA1c	550円	
CA15-3	2,200円	乳がん	血圧脈波検査 (CAVI、ABI)	2,200円	動脈硬化の評価
CA125	2,200円	卵巣がん	骨密度検査(DIP法)	1,100円	
CEA、AFP、PSA、CA19-9	5,500円	男性セット	眼底検査	1,760円	生活習慣病の早期発見 眼疾患の発見
PSA	2,200円	前立腺がん	睡眠時無呼吸チェック	12,100円	
CYFRA、SLX、ProGRP	5,500円	肺がんセット	肺機能検査	1,760円	
喀痰細胞診(3日間)	1,540円		甲状腺ホルモン検査	2,970円	FT3、FT4、TSH
CT(胸部単純)	7,920円		リウマチ因子+CRP	660円	
ピロリ抗体+ペプシノゲン	4,840円	ABC健診	血液型	880円	A・B・O Rh型
胃部X線検査(バリウム)	10,450円		梅毒反応検査	1,100円	RPR・TPHA
肝炎ウイルスセット	1,760円	HBs抗原、HCV抗体	便潜血2回法	1,320円	
マイナイツェンゲール	9,000円	生活習慣病	MCI+	17,000円	認知症
LOXindex	12,000円	脳梗塞・心筋梗塞			

一般健康診断(定期A、定期B)と生活習慣病健診(人間ドック)のコースは
思川温泉の入浴券と食事券が付きます。

血液検査項目		説明
血球系	血小板数	血液に含まれる血小板の数で、出血したときに血液を固めて止血する働きがあります。血小板が少ない場合は、体の中で血小板が消費されたり破壊が進んでいたりするか、血小板を作る機能が落ちている可能性があります。また、血小板が抗凝固剤として使われるEDTAで凝集する方がおられ、極端な低値となる場合があります。そうした時には再検査が必要になります。
肝臓系	AST(GOT)	心臓、肝臓、筋肉、腎臓などのさまざまな臓器に存在する酵素です。これらの臓器が障害を受けると、この酵素が血液中に放出され、高値を示します。
	ALT(GPT)	ASTと同じように身体のさまざまな臓器に存在しますが、ALTは主に肝臓に存在するためASTとALTの両方が高値のときあるいはALTのみが高値の場合には肝障害の可能性が高くなります。
	γ-GTP	蛋白質を分解する酵素の1つです。肝臓や胆道に病気があると高値を示します。アルコールの影響で高値になりやすく、常習飲酒による肝障害の指標になります。
	ALP	身体のほとんどの臓器に含まれている酵素ですが、主に肝臓、胆管、骨、胎盤などに多く分布し、これらの臓器の疾患で高値を示します。
	乳酸脱水素酵素(LDH)	各種臓器に広く分布し、肝臓、心臓、腎臓などの臓器のほか、筋肉や血液にも多く存在します。これらの臓器や血液成分に障害があると高値を示します。
	コリンエステラーゼ	肝臓、膵臓、心臓などに多く存在しますが、肝臓で合成されているため、肝機能をよく反映しています。肝臓障害や栄養障害などで低下し、ネフローゼ症候群や脂肪肝などでは高値を示します。
	総ビリルビン	赤血球には寿命があり毎日少しずつ壊れていますが、その際にヘモグロビンが分解されて生じるものがビリルビンです。血中ビリルビンの値により、黄疸の程度などを含め、肝・胆道系疾患の有無やその程度を知ることができます。
	総蛋白	血液中にはアルブミンやグロブリンなどの蛋白があり、身体の働きに重要な役割を果たします。低栄養、栄養の吸収障害など蛋白の不足で低下する他、肝臓、腎臓、免疫機能の障害により、身体の代謝に異常があると増減します。
	A/G	血清中のアルブミンとグロブリンの比を調べることで、血清蛋白の異常を知ることができます。ネフローゼ症候群や肝臓疾患、慢性感染症などで低値となります。
	アルブミン	血液中に一番たくさんある蛋白で、肝臓で合成されます。栄養障害、肝臓や腎臓の障害時に低下します。
脂質系	HDLコレステロール	動脈壁に付着したコレステロールを再び血液中に洗い出す働きがあるため善玉コレステロールと呼ばれます。これが高いと動脈硬化に予防的に働き、低いと動脈壁へのコレステロール沈着が増え動脈硬化の進行が早まります。
	中性脂肪	高カロリー食やアルコールの過飲などで過剰に摂られたエネルギーは中性脂肪として貯蔵され、さらに増加すると皮下脂肪や肝臓に蓄えられます。これが高くなると、内臓脂肪の増加や脂肪肝の原因となります。
	LDLコレステロール	LDL(低比重リポ蛋白)はコレステロールを末梢細胞に運搬する働きがあります。血中のLDL-コレステロールの増加は冠動脈疾患の危険因子です。栄養の摂りすぎに注意して体重を適正に保つように努めてください。肥満ではないのに高値が続くときは、内科を受診してください。
糖代謝系	血糖	血液中のブドウ糖は身体の大切なエネルギー源です。食後には血糖が上昇しますが、インスリンの働きでもとに戻ります。糖尿病でインスリンの作用が不足すると血糖値は上昇します。糖代謝の要精密検査・要医療判定(糖尿病疑い)を放置することは危険です。内科を受診してください。
	HbA1C	ブドウ糖とヘモグロビンが結合したものを、HbA1c(グリコヘモグロビン)といいます。この物質は赤血球の寿命である約120日は安定するため、過去1~2か月の長期間の血糖がうまく調整されているかどうかを知るために役立ちます。
腎臓・膵臓系	尿素窒素	尿素窒素は蛋白が身体の中で分解されたときにできる老廃物で、これらは腎臓から尿中に排出されます。腎臓での排泄が低下すると、血液中の尿素窒素の濃度が高くなります。
	クレアチニン	クレアチニンは筋肉内にあるクレアチンの最終産物で、腎臓でろ過され排泄されるため、腎機能のもっとも重要な指標とされています。
	尿酸	尿酸は身体の細胞の核にあるプリン体が壊れてできるものです。尿酸の合成増加や組織の破壊、腎臓での尿酸排泄の低下などで血中の尿酸濃度は高くなり、関節に沈着し痛風を、腎臓に沈着し腎障害をおこします。また慢性的に尿酸値が高いと動脈硬化を引きおこす危険性があります。
	アミラーゼ	膵臓に含まれる消化酵素のひとつです。アルコールの飲みすぎや脂肪のとりすぎ等で膵細胞が破壊されると、アミラーゼが上昇します。高値の場合、膵疾患のほか、腸閉塞、卵巣腫瘍、肝炎、腎不全等が疑われます。